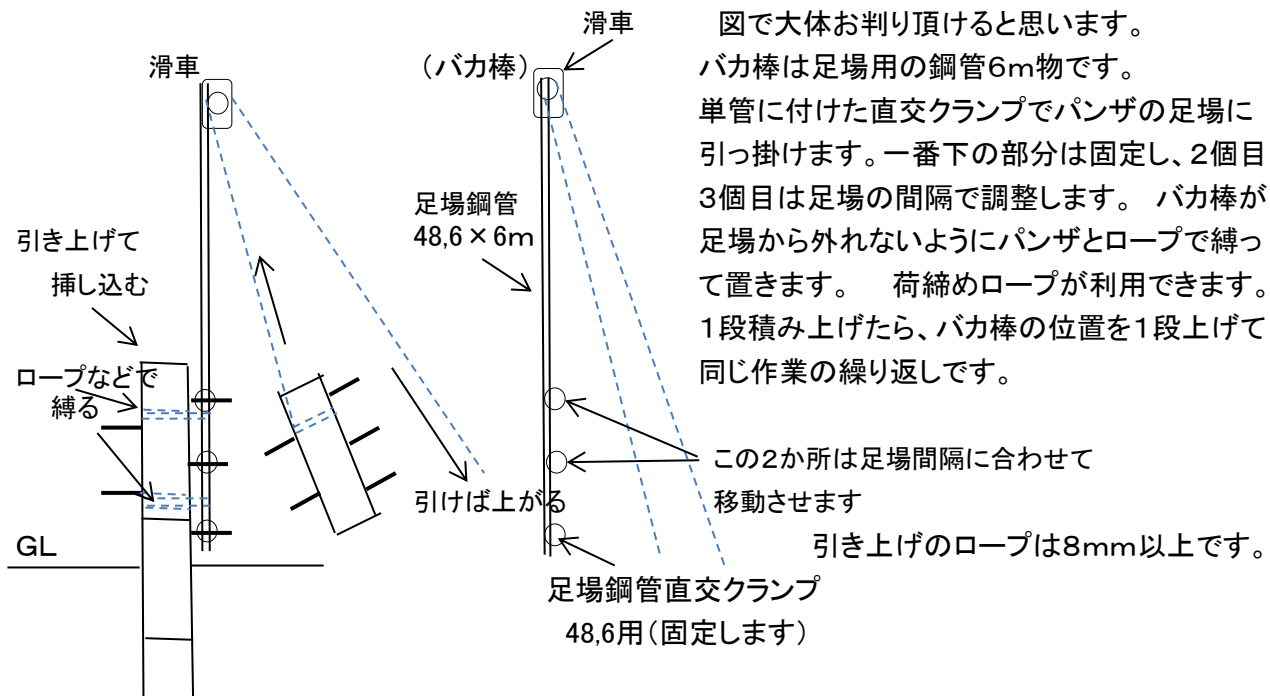


設備について、(建柱)

パンザマストの場合の基礎部分が出来ました。基礎になる分はコンクリートを使いません。余った土の捨てる場所が無ければ、パンザマストの中に入れるのも有りですが、撤去の場合は苦勞します。では、順番に差し込んで行きましょう。いつもの様に絵を描いた方が判りやすいかも知れません。説明は必要ヶ所で書きます。



図で大体お判り頂けると思います。バカ棒は足場用の鋼管6m物です。単管に付けた直交クランプでパンザの足場に引っ掛けます。一番下の部分は固定し、2個目3個目は足場の間隔で調整します。バカ棒が足場から外れないようにパンザとロープで縛って置きます。荷締めロープが利用できます。1段積み上げたら、バカ棒の位置を1段上げて同じ作業の繰り返しです。

モーター台や、ベアリングは先に取り付けてからの方が、後の手間が掛かりません。全てが組み上ったらモーター台の穴を通してマストを上げ、モーターの高さのスペース分高くして、ベアリングのボルトで仮止めて、モーターを取り付け、ベアリングの仮止めたボルトを緩めて、マストをモーターのクランプに差し込みボルトで締めたら終わりです。後は、アンテナの取り付けだけです。

どうでしょう？ 仲間に手伝って貰っても大変な作業とお判りでしょう、積み上げる度、高さも高く成り、高い所が苦手な方には、先に恐怖心が出て、慣れないと足が竦んでしまいますネ。

パンザマストは下からの番数で、アマチュアでは16番辺りから、2番で止めます、1番、0番は細いので使いません。16番から2番迄で約20m近い高さに成ります。

アングル鉄塔の場合も、同じバカ棒を使って建込をします。アングル鉄塔の場合の基礎はコンクリートを使用しますので、穴の掘り方も変わって来ます。鉄塔も各セクションに組み立てる様に成って居ます。組み立て説明書の通り組み立てなければ、モーター台や、ブレスの方向で取り付けが出来なく成る場合が有り、ブレスの向きや方向に注意して間違いの無い様組み立てる必要が有ります。上に吊り上げてから、「逆ダ！」って事の無いように注意しましょう。

設備については、次回の Ver-10 が最終回に成ります。